



# 年間報告書 2020

熊本大学基金



熊本大学基金に関するお問い合わせ

**熊本大学 基金・同窓会事業室**

〒860-8556 熊本市中央区黒髪2-39-1  
TEL 096-342-3129、2029 FAX 096-342-3110  
E-mail kik-doso@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
URL <https://www.kumamoto-u.ac.jp/kikin/>



総務部総務課  
基金・同窓会事業室

ファンドレイザー  
**田村 安都子**

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1  
Tel.096-342-3804 FAX.096-342-3110  
a-tamura@jimu.kumamoto-u.ac.jp

 **Kumamoto University**

# ご挨拶



学長  
**小川 久雄**

熊本大学は、第五高等学校、熊本師範学校、熊本医科大学、熊本薬学専門学校、熊本工業専門学校などを母体とし、昭和24年(1949年)に新たな総合大学として設置されて以降、人文社会科学、自然科学及び生命科学の各分野において、学術研究の発展と社会貢献に取り組んできました。

特に近年は、研究力の更なる向上、产学連携と地方創生の強化、そして国際化を重点的に推し進め、その成果を大学の最も重要な使命である教育に活かしながら、個性ある創造的人材の育成に努めています。

これらの実現には、安定した財政基盤が必要不可欠ですが、本学では、平成19年(2007年)10月に熊本大学基金を設立し、多くの皆様からご支援を賜り、これまで学生の留学、課外活動の支援や学内建物の整備など多岐にわたる事業に充當させていただいています。また、平成28年(2016年)の熊本地震及び昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活に困窮している学生への奨学給付金等の経済支援にも活用しています。改めて御礼申し上げます。

本学は、これからも皆様の期待と社会からの要請に応えるべく、教職員一丸となって教育、研究、社会貢献・国際貢献に取り組むとともに、地域の教育研究拠点として教育、文化及び産業の発展に寄与して参ります。

引き続き、ご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。



副学長  
**甲斐 広文**

本年度から基金・同窓会並びに地方創生・地域連携担当の副学長を拝命しました、甲斐広文と申します。

昨年度まで、薬学部長として、薬学関連の教育研究、同窓会関連の取り組みを推進して参りました。薬学部長時代には、熊本大学基金を活用して、薬草パーク構想を立ち上げ、薬草園の充実と薬草ガイドブック、彫刻、絵画などが溢れる、いわゆる「アートとサイエンスが共存するキャンパス」へと展開してきました。その経験やノウハウを、これから最大限に活用していきたいと思います。また、本学薬学部を昭和58年に卒業したOBとしても、全学的な同窓会活動への支援や基金の充実に貢献して参りたいと思います。

小川学長のもと、多くの方々が、本学の魅力やビジョンに対して、将来を見据えた投資をしたいと思えるような基金活動及び情報発信に尽力していきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 熊本大学基金実績

熊本大学基金は、熊本大学が、地域社会と共同し、知の創造、継承、発展を通じて豊かな未来を拓くことを目的として、平成19年(2007年)に設立されました。これまで、多くの皆様からご支援を賜り、留学支援、課外活動支援、学内建物の整備など、多岐にわたる事業に充当させていただきました。

今後も、皆様から頂戴した貴重なご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業などを通じて、熊本大学の教育及び研究環境の更なる改善・発展に活用させていただきます。

令和2年度は、個人558名、37法人・団体より、総額約9,000万円のご寄附を頂戴しました。

|             |             |                    |
|-------------|-------------|--------------------|
| 一般資金        | 53件         | 6,609,780円         |
| 特定資金*       | 542件        | 83,788,182円        |
| <b>寄附総額</b> | <b>595件</b> | <b>90,397,962円</b> |

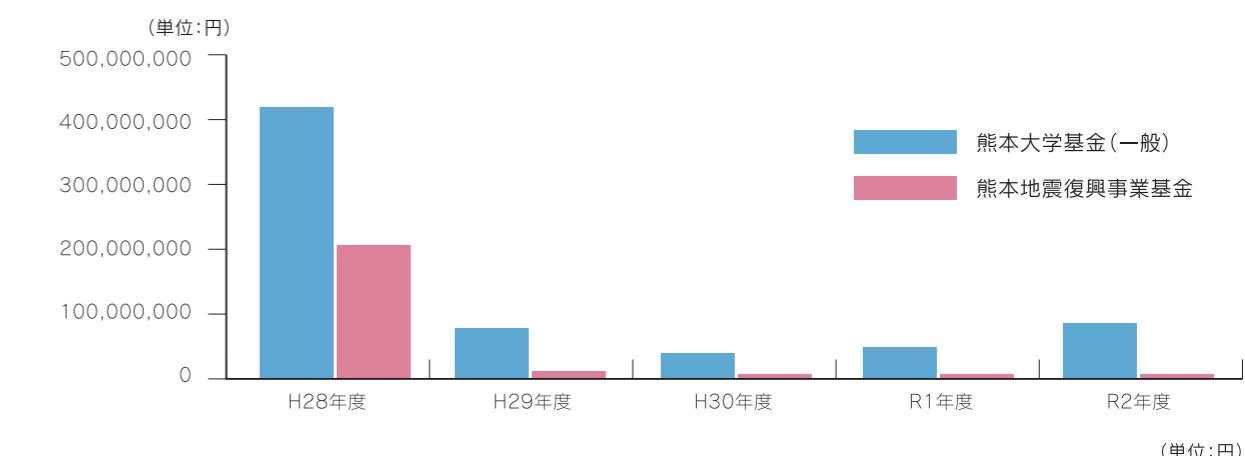
\*使途を特定した寄附金

## ◆寄附累計額

(単位:円)

|     | H28年度         | H29年度         | H30年度         | R01年度         | R02年度         |
|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 年度末 | 1,276,201,799 | 1,367,948,284 | 1,412,644,397 | 1,464,149,144 | 1,554,547,106 |

## ◆平成28年度～令和2年度 基金収入状況比較



|            | H28年度       | H29年度      | H30年度      | R01年度      | R02年度      |
|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| 熊本大学基金(一般) | 422,016,329 | 84,590,047 | 42,634,157 | 51,285,307 | 90,357,962 |
| 熊本地震復興事業基金 |             | 7,156,438  | 2,061,956  | 219,440    | 40,000     |
| 合 計        | 633,425,854 | 91,746,485 | 44,696,113 | 51,504,747 | 90,397,962 |

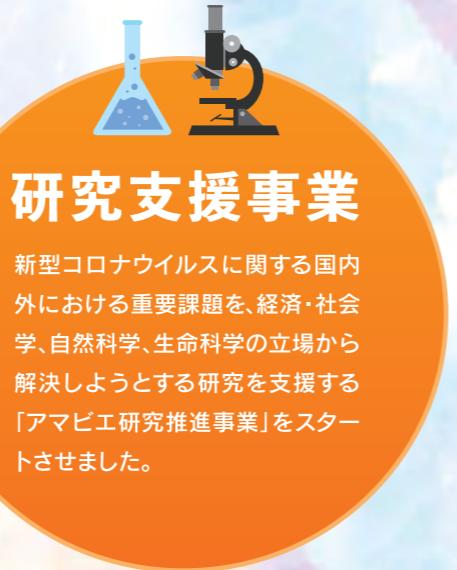
平成28年度は、寄附者のご芳名を冠した「冠基金」による高額のご寄附を頂戴いたしました。

### [冠基金とは]

奨学金、建物の建設、寄附講座の設置等で、一定額以上ご寄附いただく場合に、ご芳名を冠することができる寄附金の一種です。

# 新型コロナウイルス支援基金

新型コロナウイルスがもたらす、人類最大の課題に対して、熊本大学が総力を挙げてその解決に挑むために、『明日を担う人材育成を支援する一学生支援事業』と『重要課題を解決しようとする挑戦的研究を支援する一研究支援事業』を立ち上げ、多くのご賛同の声とご寄附をいただきました。



## 研究支援事業

新型コロナウイルスに関する国内外における重要課題を、経済・社会学、自然科学、生命科学の立場から解決しようとする研究を支援する「アマビエ研究推進事業」をスタートさせました。



## 学生支援事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って生じる経済状況の悪化により、大学での学業継続が困難になっている学生に対して、その生活費を支援するものです。



## 新型コロナウイルス支援基金研究支援事業 アマビエ研究推進事業課題一覧

### 新型コロナウイルスを理解する

| ウイルスに対する免疫を解明  |
|--|
| 新型コロナウイルスの感染制御に関わる新たな自然免疫型T細胞の同定<br>ヒトレトロウイルス学共同研究センター<br>講師 本園 千尋 |

### 人のウイルスに抵抗する力を解明

|   |
|---|
| 新型コロナウイルスSARS-CoV-2感染における宿主防御因子APOBEC3ファミリータンパク質の役割の解明<br>ヒトレトロウイルス学共同研究センター<br>准教授 池田 輝政 |
|---|

### 植物から抗体を作る

|   |
|---|
| 植物ベンサミニアを用いたVHH型抗SARS-CoV-2抗体の生産<br>大学院先端科学研究所(理)<br>教授 澤 進一郎 |
|---|

### 重症化の特徴を探す

|  |
|--|
| 抗SARS-CoV-2抗体を指標としたCOVID-19重症化マーカーの探索と市中感染動向の解析<br>大学院生命科学研究所(医)<br>准教授 安永 純一朗 |
|--|

### 新たな治療薬の開発

|  |
|--|
| 活性イオウを基軸とするCOVID-19重症化に対する新規治療剤の開発<br>大学院生命科学研究所(医)<br>教授 澤 智裕 |
|--|

### 感染を防ぐ

| 重症化の原因を探る   |
|---|
| COVID-19病態悪化に直結する血管凝固・炎症の原理解明と防止法の開発<br>生命資源研究・支援センター<br>教授 南 敬 |

### 抗ウイルス素材の開発

|   |
|---|
| 酸化グラフェンを用いた抗菌・抗ウイルス性素材の開発<br>実用化間近<br>大学院先端科学研究所(理)<br>教授 速水 真也 |
|---|

### 新たな治療薬のための技術を開発

|  |
|--|
| 新型コロナウイルスの吸着・侵入を阻害する新薬開発のためのVLPを利用したアッセイ系の確立<br>大学院生命科学研究所(医)<br>准教授 前田 洋助 |
|--|

### ウイルスの進化を解明

|  |
|--|
| SARS-CoV-2のヒトへの適応進化について<br>大学院生命科学研究所(医)<br>助教 門出 和精 |
|--|

### 感染をコントロールする

|   |
|---|
| ACE2発現型の細胞外ベシクルを囮(デコイ)に用いるウイルス感染防御<br>大学院先端科学研究所(理)<br>教授 斎藤 寿仁 |
|---|

### がんの知識からコロナを克服する

|   |
|---|
| がん免疫の知見を応用したCOVID-19排除法の開発<br>大学院生命科学研究所(医)<br>教授 諸石 寿平 |
|---|

### コロナ禍のオンライン授業のガイドラインの作成

|  |
|--|
| ユニバーサルデザインの視点を踏まえたオンライン授業ガイドラインの作成<br>大学院教育学研究科<br>准教授 菊池 哲平 |
|--|

### 新型コロナウイルスと教育

#### ポストコロナの学校教育

どんなときも子どもの豊かな学びを進め、実践研究を止めない学校のシステムづくり

熊本大学教育学部附属小学校  
副校長 森 毎恵

#### 新型コロナウイルスと社会

新たな遠隔授業の開発  
COVID-19の影響による中学生の不安構造の解明と主体性を核とした自己回復力を育む遠隔授業の開発

大学院教育学研究科  
教授 大塚 芳生

AIで感染拡大を防ぐ  
AI技術を用いたCOVID-19アウトブレイク監視システム

大学院先端科学研究所(工)  
准教授 小崎 太樹

コロナ禍による不登校を防ぐ  
コロナパンデミックにおけるADHD児の不登校を予防する感覚セルフマネジメントシステムの開発

大学院生命科学研究所(保)  
教授 大河内 彩子

コロナ禍による社会の変化  
新型コロナウイルス(COVID-19)パンデミックによる心理・社会的変化

大学院人文社会科学研究部  
准教授 西川 里織

ポストコロナの音楽教育  
児童の音楽学習を保障し深めるためのリモート学習ならびにデジタル音楽鑑賞教材の構築

大学院教育学研究科  
准教授 潤川 淳

研究ができる環境を維持する

遺伝子改変マウスの緊急避難を可能にする簡易精子凍結保存法およびオンライン指導システムの構築

生命資源研究・支援センター  
教授 竹尾 透

### 成果の紹介

令和2年度の事業として、以下のような成果がありました。

◆先端科学研究所の速水教授とヒトレトロウイルス学共同研究センターの池田准教授らが、酸化グラフェンによるウイルスの除去に成功した。

◆ヒトレトロウイルス学共同研究センターの本園講師らと東京大学による共同研究の成果として、新型コロナ米国変異株が日本人の6割が持つ白血球型で免疫効果低下の可能性を明らかにした。

◆先端科学研究所の尼崎准教授は、クラスター感染に最も影響が大きい要素の1つであるソーシャルディスタンス検出器を深層学習技術で開発した。



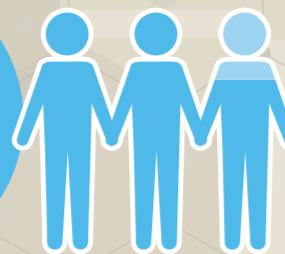
# 新型コロナウイルス支援基金学生支援事業 支援を受けた学生の声

支援を受けた学生たちにアンケート調査を実施しました。

その結果、あたたかいご支援への感謝と厳しい生活の実態が見えてきました。

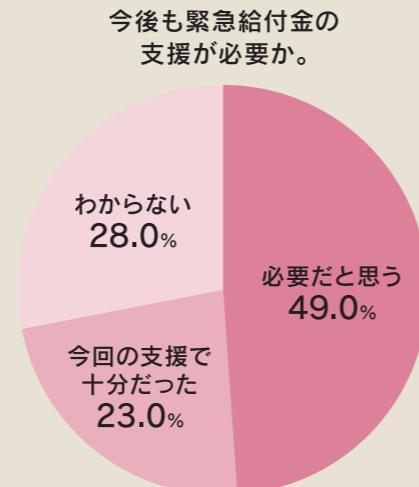
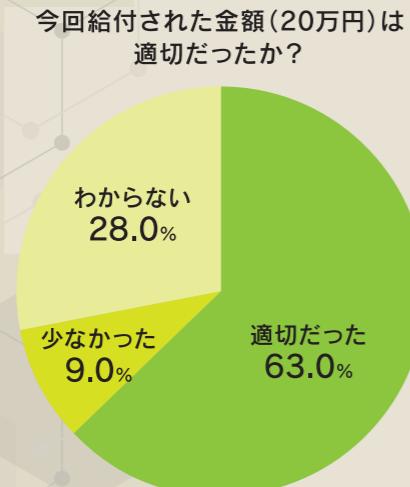
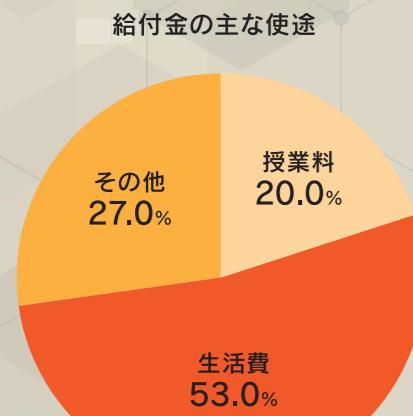
## 令和2年度実績

支給人数  
**286名**  
(※)



総支給額  
**45,950,000円**

## アンケート集計結果



※令和2年度に実施した新型コロナウイルス学生支援事業のうち、195名の学生を対象にアンケートをとったもの。

## 学生から寄せられた感謝の声

●新型コロナウイルスの影響で、アルバイトができなくなり、両親の収入も減少する一方でした。日常生活が支えられず困っている時に学校の支援給付金を頂き、とても助かり、改めて感謝します。安心な生活を保てるからこそ、学業に専念できました。これからも自分の知識と能力を高めて将来人を助けられるように一層努力します。(自然科学教育部)

●バイトができなくなり収入がほとんどない状態だったので、給付金をいただくことができ非常に助かりました。申請から振込まで迅速に対応していただけたのもありがとうございました。(薬学教育部)

●コロナの感染が拡大し、親の仕事にも影響が出て、大学に入つてもアルバイトも何もできず、不安な状態でしたが、熊本大学の給付金のおかげで、生活費や教材費を払うことができ、良かったです。本当にありがとうございました。(教育学部)

●国からの支援金だけでは、就職活動の規模を縮小し、望む職種を受験できない可能性がありました。大学からの支援金をいただけて、就職活動を広範囲ででき、希望職種での内定をいただくことができました。ありがとうございました。(社会文化科学教育部)

引き続きみなさまからのあたたかいご支援をいただけますと幸いです。

## ご寄附をいただいた企業様の想い

※会社名の五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。

### 医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院

〒860-0851 熊本県熊本市中央区子飼本町4番14号  
理事長／伊東 隆利

[診療科目]歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科・麻酔科(医師:後藤俱子)  
[ホームページアドレス]<https://www.itooh-dh.or.jp/index.html>

当院は全国初の民間歯科病院として一般の歯科診療だけではなく、専門医による歯周病、口腔外科、障がい者診療、矯正診療、入院下での顎変形症の手術等、歯科全般にわたる治療を行っており、またかかりつけ歯科医からの紹介患者様の共同診療も行っています。



#### 【今回の寄附についてのコメント】

この度は熊本大学様の趣旨に賛同し、微力ながら地元大学に貢献させていただきご寄附させていただきました。継続的で情熱満ちた学問の探究を通じ、優秀な人材の多数育成にご活用いただければ幸いです。



### 有限会社 坂本石灰工業所 [本社・工場]

〒865-0013 熊本県玉名市下273-1  
代表取締役社長／坂本 達宣

[事業] 1)石灰製品の製造販売、2)石灰に付帯する事業  
[ホームページアドレス]<http://sakamoto-lime.com/new/>

通常用途の石灰製品の取り扱いは勿論として"カルシウム"をキーワードとした新技術・新製品の開発に力を置いています。石灰乾燥剤業界では量・質共に業界No.1でございます。



#### 【今回の寄附についてのコメント】

在学生にも認知してもらいたいなと思います。寄附は継続することが重要と考えます。"継続"のためのシステム作りに知恵を出すべきだと考えます。



### 東京エレクトロン九州株式会社

〒861-1116 熊本県宇城市福原1-1  
代表取締役社長・CEO／林 伸一

[主要事業] 半導体製造装置事業、フラットパネルディスプレイ製造装置事業  
[ホームページアドレス]<https://www.tel.co.jp/>



#### 【今回の寄附についてのコメント】

新型コロナウイルスの影響で経済的な支援が必要な学生の皆さんへの一助となればと考えております。



### 株式会社 双葉金属 [本社・工場]

〒861-5501 熊本県熊本市北区改寄町1004番地9(シグマ工業団地)  
代表取締役／志田野 徹

[業務内容] 薄板(ステンレス・アルミ等)を主とする精密板金部品の製作、ステンレスパイプの(丸角)の加工部品、半導体・FPD各種製造装置を構成する部品の製造、包装・食品・通信・医療・設備関係の各種装置を構成する部品の製造

[ホームページアドレス]<https://www.futabam.co.jp/>

- 半導体製造装置を構成する精密板金部品を製作しています
- 『未来の社会に貢献するものづくり』を目指しています



#### 【今回の寄附についてのコメント】

私たちの寄附が『ハチドリの一滴』になれば嬉しいです。



<FUTABA>

### ミリーヴ株式会社 [明和不動産G][本社]

〒860-0804 熊本県熊本市中央区辛島町4-35  
代表取締役社長／川口 圭介

[主要事業] 企業及び不動産に関する投資業務、企業経営に関するコンサルタント業並びに顧問業、不動産、有価証券、その他金融資産に関する投資業務、不動産の管理及び投資に関するコンサルタント業並びに顧問業

[ホームページアドレス]<https://www.milive.co.jp/>

明和不動産を中心、デジタル・通信業や保険業などの住まいに関わる事業を幅広く展開しているミリーヴグループ。「よりよい住まいづくり」をミッションに掲げ、住環境の更なる発展に尽力して参ります。



#### 【今回の寄附についてのコメント】

熊本大学の学生の皆様、コロナ禍により満足のいく学生生活を送ることが出来ない状況下、大変辛く悔しい思いをされていることと思います。明るい未来を信じ、精一杯勉学に励んでほしいと心より応援しています。



# 熊本大学基金による大学事業

熊本大学基金では、様々な事業を行っています。

皆様からいただいたご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業に活用させていただきます。

## 全ての事業

「全ての事業」への寄附金は、用途を特定せず、「全学事業」、「学部・研究科等教育研究支援事業」やその他の必要な事業に充てられます。

各事業の詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本大学基金による大学事業

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/kikin/jigyou>



## 全学事業

教育・学生支援事業

研究助成事業

小川学長・キャンパスミュージアム事業

### 修学支援事業

修学支援事業は、経済的な理由で修学が困難な学生に対して修学に必要な経済的支援を行うことを目的としています。対象となる事業は、入学料、授業料または寄宿料の一部の免除、学習資金の貸与または支給、学生の海外への留学に係る費用の支援などです。

国際共同協力事業

地域貢献・社会貢献活動事業

附属図書館支援事業

永青文庫史資料整備事業

文書館支援事業

キャンパス環境整備事業

五高記念館周辺環境整備事業

新型コロナウイルス支援基金学生支援事業

Pick up  
1 教育学部ましきプロジェクト事業

教育学部音楽棟大型改修及び実習工場改策事業

教育学部教育研究支援事業

文学部教育研究支援事業

武夫原教育・研究支援基金

法学部教育研究支援事業

理学部教育研究支援事業

医学教育部教育研究支援事業(柴三郎プログラム)

Pick up  
2 医学部医学科教育研究支援事業(医学教育・研究基金)  
医学部保健学科教育研究支援事業

HIGOプログラム教育研究支援事業

薬学部教育研究支援事業

Pick up  
2 薬学部キャンパス薬草パーク事業

薬学部熊本ファーマバレー事業

熊薬創立135周年記念事業

## 学部・研究科等教育研究支援事業

工学部教育研究支援事業

自然科学研究部教育研究支援事業

社会文化科学教育部教育研究支援事業

発生医学研究所教育研究支援事業

# 取組報告

Pick up

1

## 教育学部ましきプロジェクト事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、木山、テクノ仮設住宅団地での対面による学習会が実施できなかつたため、オンラインでの夜間学習会、また、秋以降には益城中学校において一時中止していた不登校生徒の学習支援を開始しました。

益城中学校では、新校舎が完成すれば現在のプレハブ校舎は解体されることから、3年間の中学校生活をこのプレハブ校舎で過ごした令和2年度卒業生および教員270名が思い出として卒業記念レリーフを教育学部美術科教育講座指導の下、制作し、修了式でお披露目を行っております。



益城中学校卒業記念レリーフ完成

また、令和2年7月球磨地区を豪雨災害が襲ったことから、災害地支援として球磨中学校3年生を対象に、オンライン学習会を実施し、9月から3月までに中学生273人、大学生108人の延べ参加者がありました。皆様からの基金は、ボランティア学生の旅費、謝金、卒業記念レリーフ作成のための材料費、オンライン学習会のためのiPadの購入等に使用させていただきました。

Pick up

2

## 薬学部キャンパス薬草パーク事業



薬学部  
薬草パーク  
KUMAYAKU



Pick up

3

## 医学部医学科教育研究支援事業(医学教育・研究基金 -くま医もん基金-)

医学部医学科では、最先端の医療・医学の研究成果を次世代に伝え、自主性を重視した教育により優れた医科学研究者や指導的な医療人の育成に取り組み、社会の発展に寄与することを目指しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、研究者の派遣や招聘及び留学生の受け入れなどの国際交流や国際シンポジウムなどが実施できず、本基金による国際交流事業への支援ができませんでしたが、コロナ禍でアルバイト等ができず困窮する学生を支援するため、修学奨学金を2名の学生に付与しました。

また、医療人の育成等の医学教育充実のため、特任教員1名を雇用する教員人件費に活用させていただきました。



# Topic's

## 小川学長・キャンパスミュージアム事業

熊本地震で大きな被害を受けた3つの重要文化財の復旧工事が令和3年(2021年)内には完了することに伴い、熊本地震からの再興の象徴として、自然と歴史に満たされた熊本大学を一大キャンパスミュージアム化するため、「小川学長・キャンパスミュージアム事業」を新たに創設しました。

このキャンパスミュージアムは、地域だけでなく海外にも開放・開示することにより、世界の人々の歴史・文化・伝統の理解と学習に貢献し、教育と文化の発展に寄与することを目指しています。



## 附属図書館支援事業

学生希望図書の充実、貴重資料保存環境の整備、熊本大学東光原文学賞・貴重資料展開催などの図書館事業に活用し、学生サービスと社会貢献をより十全かつ迅速に行うことを目指します。



### 附属図書館ホームページ

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/4672>



熊本大学附属図書館  
公認キャラクター くまほん

## 熊本大学基金への寄附者銘板

ご寄附累計額が、個人20万円以上、法人・団体50万円以上の場合は、  
ご芳名の銘板を本部棟正面玄関に掲示させていただきます。  
(掲示希望者のみ)

熊本太郎

本部棟玄関



寄附者の方々のご芳名については、本学の広報誌「熊大通信」に掲載しておりますので、  
こちらをご覧下さい。

### 熊大通信ホームページ

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kouhou/kouhoushi/kumatu>



## ファンドレイザーを配置しました



本学では、熊本大学基金をより多くの皆様に知つていただきため、令和2年(2020年)7月にファンドレイザーを配置しました。熊大サポーターの輪を広げるために活動しています。

(2020年11月29日熊本日日新聞)